



## 当面する重点企業の3社に絞って 秋年末闘争促進の企業要請行動実施

神奈川県南支部は、11月13日(火)に年末一時金を中心とする秋季年末闘争の促進をはかる企業要請行動を実施しました。今回の企業要請は、11日の第25回支部定期大会の討論で重点に位置づけ、対策が急がれることが確認された企業3社に絞った要請行動となりました。行動では、年末一時金の回答促進要請と合わせて建交労の中央労使協議会が労使共同の事業としてとりくむ経営動向アンケートや国会請願署名への協力、さらに企業と分会との間で抱えている個別課題の早期解決などについても強く要請しました。ただ1社については、あいにく社長、部長らが不在等のため一般管理職に要請書を手渡して簡単な説明を行うだけの行動となりました。

なお、この日の行動には、佐藤委員長、清野新副委員長、大島書記長、赤羽特別執行委員、内外液輸分会の三浦分会長の5名が朝から、午後からは味の素物流班の畠野組合員も加わって6名が参加しました。

## 勤労者通信大学・第2回学習会開催！

神奈川県南支部は、2018年の勤労者通信大学を受講している仲間(入門コース8名)の修了を援助するため、11月11日の第25回支部定期大会が開催される前の午前中の時間を確保して第2回学習会を開催しました。

この日の学習会は、仕事が重なった仲間などもいて受講者8名中4名とチューターの赤羽を加え5名の少人数の参加となりましたが、第2回テスト(終了テスト)を受講者全員が提出して修了できることを目標に1時間30分の短時間でしたが参加者は集中的な学習を行いました。この結果、参加した受講者は第2回テストの解答をしっかりと書き込むことができ、あとは受講の感想などを書き込む箇所をそれぞれが早急に記載して提出するだけとなっています。ちなみに第1回テストは8名中7名が提出、また今回の学習会に参加できなかった4名のうち3名は既に第2回テストを提出済みです。この学習会で全受講者が早い時期に修了できるめどが立ちました。

## 春闘アンケートを全力で取り組もう！

現在、神奈川県南支部の取り組みで決定的に遅れているのは別紙一覧表のとおり、春闘アンケートです。春闘アンケートはたたかひの出発点です。すべての分会・班が全組合員の取り組みとして集中的な取り組みを本気で展開しましょう。

